



＜事例報告2＞プログラムB 公益財団法人とよなか国際交流協会

外国人の若者の生活力・表現力アップ日本語事業
～ユース・多文化エンパワメントプロジェクト～

事業コーディネーター 黒島トーマス友基
事業職員 山本房代



大阪府豊中市

豊中市： 人口 約40万人

在住外国人数 約4,600人 (人口比1.16%)

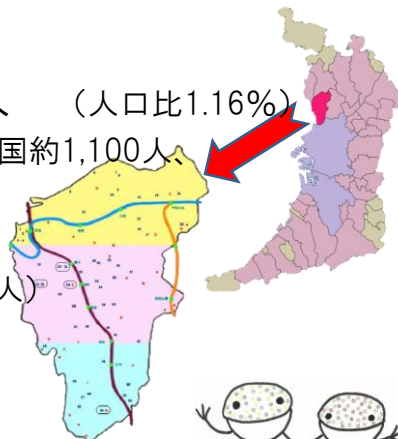
(①韓国・朝鮮 約2,200人、②中国約1,100人、

③フィリピン約150人、

④⑤台湾、インド 約110人

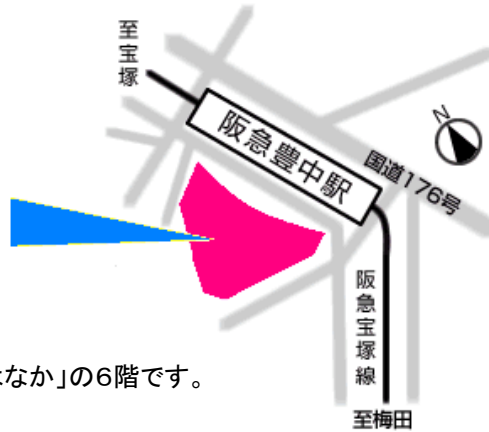
⑥⑦アメリカ、ベトナム 約100人)

※2014年7月末現在





とよなか国際交流センター



阪急豊中駅南口すぐ「エトレとよなか」の6階です。

(公財)とよなか国際交流協会

Tel 06-6843-4343

開館時間 9:00~21:30

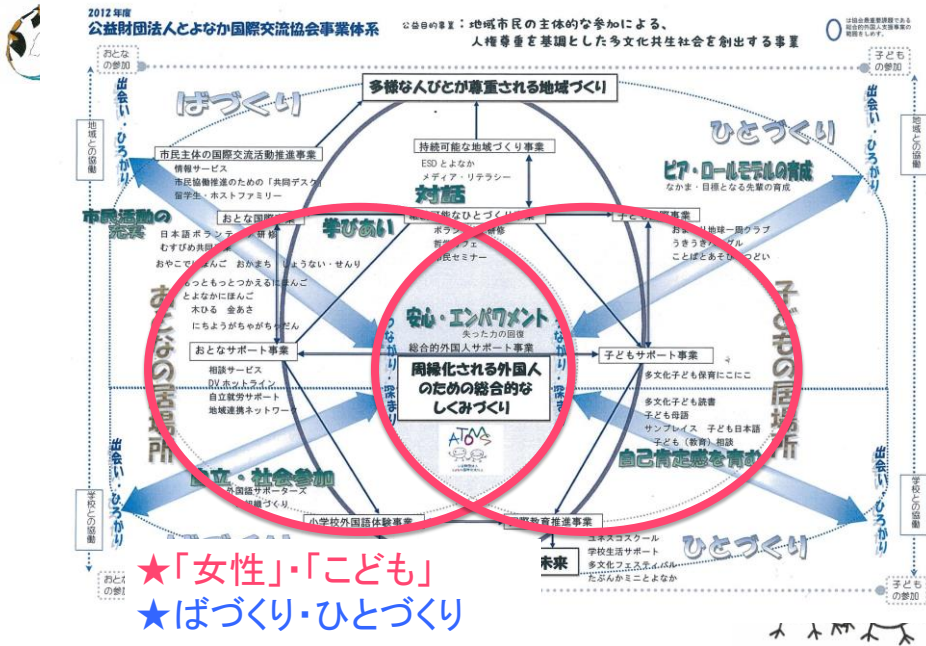
休館日:毎週水曜日



とよなか国際交流協会概要

- 1993年 「財団法人とよなか国際交流協会」として「とよなか国際交流センター」とともに設立
- 1999年 基本理念
「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」
- 2010年 センター移転
- 2012年 「公益財団法人とよなか国際交流協会」となる

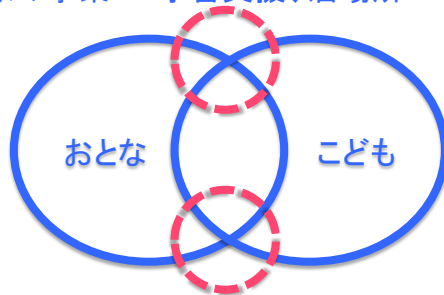




外国にルーツをもつ若者支援

★既存の事業からこぼれ落ちる若者たち

- ・おとな対象の事業・・・日本語学習、相談、子育て など
- ・子ども対象の事業・・・学習支援、居場所づくり など



⇒多様な背景をもつ外国にルーツの若者に
支援が届きにくい





外国にルーツをもつ若者に 何が必要か

- **日本語学習**：若者のニーズにあった日本語
- **居場所**：心をゆるせる場、気軽に来れる場
- **進路**：正しい情報を得る、将来イメージをもつ
- **表現活動・創作活動**：好きなことにかかわる、言葉にしにくい想いを表現する



外国人の若者の生活力・表現力アップ日本語事業 ～ユース・多文化エンパワメントプロジェクト～

- **対象**：外国にルーツをもつ若者
- **目的**：渡日、帰国、日本生まれ/育ちなど多様な外国にルーツのある若者が、日本社会において生活を営むための日本語や社会関係(つながり)を必要となときに利用し、地域社会で活用していくことが出来る。





取組1 ～ユース☆ライフプランニング日本語講座～

① 「～生活まるごと～よみかき日本語講座」

- 若者にとって親しみのあるテーマに沿って、将来自立した生活を送るために必要な情報読解力や文章表現力などを身につけるための日本語講座。
- ことわざ、若者言葉、方言など学べることは多いが体系的に学ぶ日本語についても、学んだ。



取組1 ～ユース☆ライフプランニング日本語講座～

② 「～からだところの～フリーダム日本語講座」

- ピア（同じ仲間）でありロールモデル（目標となる人）となる外国にルーツをもつ若者がゲスト・アドバイザー
- ダンス教室や料理講座、若者の「たまりば」など若者のニーズ・興味関心に沿った講座







取組1 ~ユース☆ライフプランニング日本語講座~

③「まちを知る！しごとを知る！しゃかいを知る！日本語講座」

- 日本社会や将来についての夢・仕事について語り合うことで、日本社会で生きていくことの展望を持てるような機会を設けた。
- 農業を営む人、地域NPO職員から仕事についての話を聞き、働くことについてのイメージを持つ機会を設けた。





取組2～ユース☆対話・メディア講座～

① 「ユース・ラジオ講座」

- ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や番組構成を知り、実際に自分のオリジナル番組を計画することで、新しい発信の仕方、表現の仕方を学んだ。





取組2～ユース☆対話・メディア講座～

②「ユース・対話メディア講座」

- 「対話」のもつ様々な形式を知り、多様なコミュニケーションのあり方について、実践を踏まえたかたちで学んだ。
- 作品制作の際に被写体として、製作者として、自らの多様なあり方をメディアにて表現
- 地域の環境交流センターや成人式、地域の学校にて、様々な対話やメディア表現の試み





ご清聴ありがとうございました！

